

○ 道路の安全防止策について

① 相談要旨

県による歩道の移設及び拡張工事に伴い、道路の改修工事を行った際、道路と側溝との境に5cm~20cmの段差が生じた。運転者からは道路と側溝の段差が確認しづらい状況となっているため、車の脱輪が多発している。安全防止策を講じてほしい。



② 結果の概要

相談を受けた行政相談委員は、現地を確認し、申出のとおりであることを確認しました。

県の担当課に複数回出向き、相談内容を伝えるとともに、現地写真を示すなどして状況を説明したところ、行政相談委員・相談者・担当課職員・工事業者による工事の打合せが実施され、その後、段差に接近しないよう注意を促すためのラバーポールが設置されました。

【改善前】



運転者からの目線では道路と側溝の段差が見えにくく（左写真）、脱輪の痕跡が確認できません（右写真）。



段差箇所にラバーポールが設置されたことで、段差への接近が防止されるようになっています。

